



施工マニュアル

プリンテリアSO施工マニュアル

目次

- 【1】 施工上の注意
- 【2】 保管・運搬上の注意点
- 【3】 指示書の作成について
- 【4】 下地調整
- 【5】 貼り付け手順
- 【6】 ジョイント方法
- 【7】 プリンテリアSOについて
- 【8】 メンテナンス

【1】 施工上の注意

- 糊付け後、壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部に負担が掛からないようにしてください。
折れじわの原因になります。
- 印刷壁紙のため、なで刷毛等で極度に強くこすりつける作業は、壁紙の表面を傷つける恐れがありますので注意してください。
- 施工後は接着が安定するまで自然乾燥させてください。特に冷暖房による急激な室温の変化は避けてください。目スキやはがれの原因になります。
- 施工時、施工後は十分な換気を行ってください。

【2】 保管・運搬上の注意点

保管

- プリンテリアSOメディアの保管は、立てて保管してください。

運搬

- 運搬に当たっては下積みを避け、プリンテリアSOメディアが潰れたり、折れじわがつかないように注意してください。

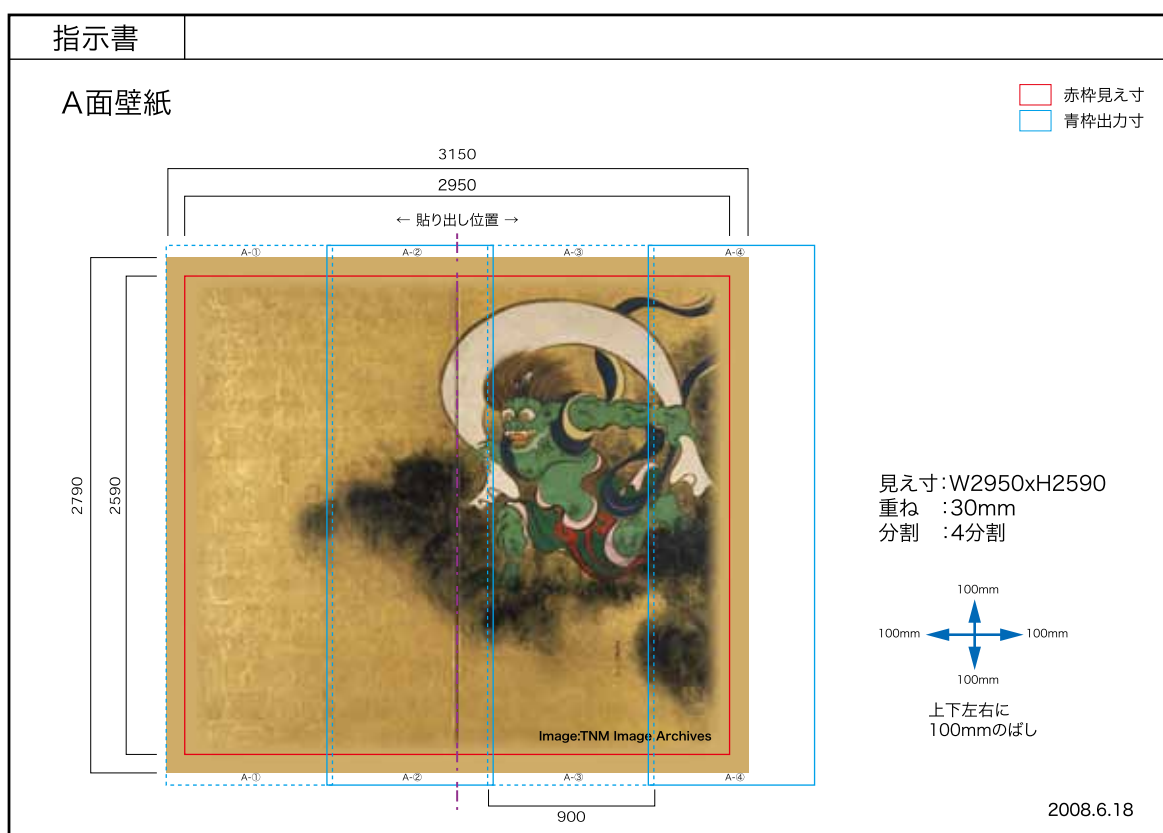
プリンテリアSO施工マニュアル

【3】指示書の作成について

通常の無地クロスの施工と違い、製品の性質上柄あわせ等の特殊な作業となります。
施工時のトラブルを極力回避するために、下記例を参考にして施工面に対しての指示書を同梱してください。

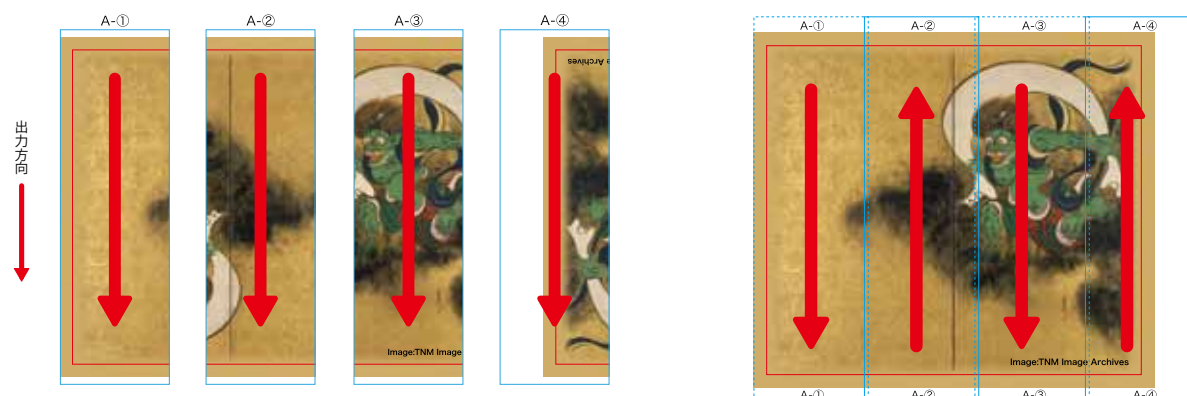
- 施工面の実測を行い、指示書のパーツサイズを確認します。
- 指示書の伸ばし寸法を考慮し、1枚目の貼り付け位置を決めます。
- 指示書に貼り付け順が記載されている場合は、その順序に従って貼り付けます。
- 上下左右に会社名やロゴなどの欠けてはならない重要なデザインがある場合は、そのデザインのあるパーツを貼り始めの基準にします。
- 事前に採寸した施工面の寸法（見え寸）と実際の出力サイズ（出力寸）、分割数、重ねシロを明記してください。
- 貼り付け位置、貼り付け順の指示がある場合はその内容も明記してください。
- 出隅、入隅、開口、窓などがある場合は壁面の形状も記入してください。

例



【出力時の注意事項】

製作ロットにより色調や外観が異なる場合があるため、つなぎ貼りの場合は同一ロットをお使いください。
また、同一ロットの場合でも流れ方向で微妙に厚みが異なり、印字ムラの原因となる場合があります。
つなぎ貼りの場合は以下のようにデータを出力してください。



プリンテリアSO施工マニュアル

【4】下地調整

パテ・シーラー・糊は、必ず壁紙施工専用品をご使用ください。
専用品以外のものを使用すると、目スキ、膨れを発生させることがあります。
副資材メーカーの施工要領・取り扱い注意事項を必ずご一読ください。

下地ボードの素材は同一素材にて施工してください。

基材表面を平滑にする

基材表面に凹凸がある場合はパテ埋めし、サンドペーパーでなるべく全体が平滑になるよう仕上げてください。

全面パテを打つ場合、伸びの良いものを使用し、乾燥後は肉やせしやすいのでサンドペーパーをかけてください。
この作業を2～3回繰り返すことで表面をきれいに仕上げることができます。

基材別下地調整

石膏ボード	シーラー塗布が必要
石綿ストレート	シーラー塗布が必要
モルタル	シーラー塗布が必要
コンクリートPC板	シーラー塗布が必要
ケイ酸カルシウム	シーラー塗布が必要

ポイント

- 下地調整をしても経時変化や湿熱変化により、下地ボードが収縮・変形する場合があります。
これにより表面に施工されたプリンテリアSOに、しわやひび割れが生じる場合があります。
- 下地ボードの収縮・変形を防ぐために下地ボードの固定を十分確認の上、下地処理をしてください。
- 特にボードとボードの継ぎ目には、寒冷紗やファイバーテープを用いて補強することで、施工されたプリンテリアSOのしわやひび割れを軽減することが可能です。*写真1



写真1：ファイバーテープ

プリンテリアSO施工マニュアル

【5】貼り付け手順

プリンテリアSOメディアは『塩ビ系壁紙』に分類されます。
一般的に販売されている塩ビ壁紙と同様な貼り付けを行ってください。

① 指示書と材料の確認

はじめに材料の同梱されている、貼り付け指示書を確認してください。

糊付け前に施工面と材料の採寸を行い、不足が無いかを確認してください。

② 施工前写真の撮影

施工前に施工面と、施工に使用する材料やその他の写真撮影を行ってください。

この場合F☆☆☆☆の表示が写るように、工夫して撮影してください。

③ 糊の塗布量

基材への塗布は均一に行ってください。(糊付け機使用)
塗布量は一般的な塩ビ壁紙同様です。

塗布量の不足は、壁紙の接着不良の原因となります。

④ 位置決めから貼り込みまで

【貼り出し位置の基準出し】

下げ振・レーザー等を使用し、貼り出し位置の基準を出します。(垂直出し) *写真1

【糊付け】

糊付け後、細かくたたまず大きくたたみ、タタミジワを防止してください。

しっかりオープンタイムを取り、壁紙が柔らかくなってから貼り出してください。

●デザイン上、ロゴマーク等の位置の指定がある場合は貼り出し位置が変わる場合があります。(指示書確認)

●糊付け後、横伸びしますので分割数が多い場合注意が必要です。また、従来のプリンテリア(水性)と比較して、幅方向の伸びが大きいので注意してください。

●フラットはスタック、平織りと比較して収縮しやすい材料です。

【貼り込み】

貼り出しの1枚目を必ず垂直に貼ってください。

なで刷毛はできるだけ毛の柔らかい物を使用してください。

貼り付けは、壁紙の中央部から外へ向けて壁紙の裏面に気泡が残らないように丁寧に圧着します。*写真2
絵柄を合わせて貼りますが、全体を確かめながらずれないように貼り進んで下さい。

●左右に強く貼ると、施工後基材の縮みが発生し目スキが生じる場合があります。

●上部から柄合わせを始めると下に行くに従って柄がずれて行くことがありますので、材料の中央から上下に柄を合わせてください。

●3タイル目くらいのところで2タイルほど戻りローラーで圧着します。



写真1：垂直出し



写真2：貼り込み



写真3：貼り出し

プリンテリアSO施工マニュアル

ポイント

- 貼る前に、破れやすい材料である事を忘れずに慎重に扱ってください。*写真3
- 出隅部の圧着時には基材が割れる恐れがあるためオープンタイムを長く取ってください。
- 出隅部は直接強く圧着せずまわりからゆっくり力を含めずに刷毛で馴染ませてください。
- 出隅部の角がきつい場合は面取りをした上でお湯で湿らせたスポンジなどを使って丁寧に折り曲げてください。
- 濃色のプリントの場合、折り曲げや出隅部でインク割れが目立つことがあるので特に注意してください。
- 折り曲げや出隅部でインク割れが目立つ場合にはアクリル系絵の具で目立たなくします。

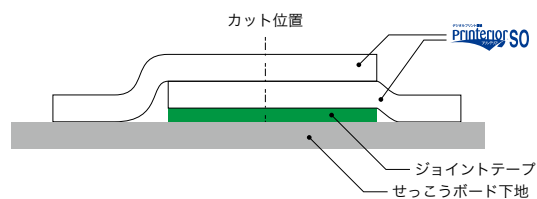


図1



図2

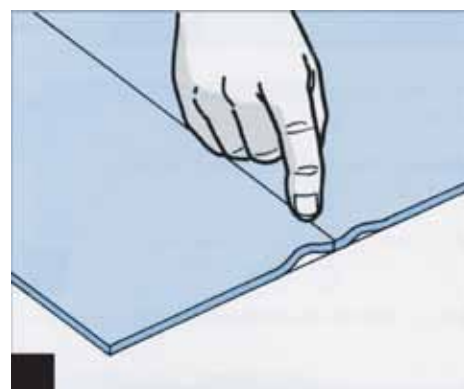


図3

【6】ジョイント方法

① 重ね貼り

貼り付け指示書の記載事項に従い、約25mm・30mm重ねて、重なった部分の中央に定規を当てカッターナイフで裁断します。

せっこうボード下地の場合、表面の紙層を切り込まないようにジョイントテープ等を使用してください。

*図1

カッターナイフの刃は基材に対して直角に入れてください。

初めに表面の切りくずを取り除き、その後裏紙を剥がしながら面々のプリンテリアSOをつき合わせ軽く圧着します。*図2、図3

つき合わせ部分に段差が生じていないことを確認し、その後ローラーでていねいに圧着します。*写真1

- ローラーはやわらかめのシリコンローラーの使用を推奨します。

② 付着した糊の除去

壁紙の表面や端部に糊が付着しないように注意してください。

付着した場合は、きれいな水を含ませたスポンジや布で直ちに拭き取ってください。

- 糊が付着したまま放置しておくとカビや変色、汚れの原因になります。



写真1：ローラーがけ

プリンテリアSO施工マニュアル

標準施工道具

壁紙用粘着材		
シーラー	プライマー	パテ
パテベラ	地ベラ	糊付け機
押さえ刷毛	スキージー	ウレタンローラー
カッターナイフ	竹ベラ	スポンジもしくはタオル
定規	マスキングテープ	ドライヤー
サンドペーパー	養生用シート	ジョイントテープ
ファイバーテープ		

【7】プリンテリアSOについて

D．I．S．の防火認定について

一般的に内装仕上げ材（壁紙・粘着化粧シート等）は建築基準法の内装制限により、壁・天井などに使用する場合は、所定の防火性能を満たすものであることが法律で定められています。

下記のプリンテリアを含む、D．I．S．製品防火認定一覧に基き、正しい組み合わせでの認定運用を確認の上施工してください。

製品名	下地材料	
プリンテリアSO	不燃材料(金属板を除く)	
プリンテリア	不燃材料(金属板を除く)	
ウォルコス	不燃材料(金属板を除く)	不燃材料(鋼板)
ウォルコスEX	不燃材料(金属板を除く)	不燃材料(鋼板)
クロッコス	防災製品認定	

不燃材料には、建築基準法施行令の建設省告示第千四百号において、建築基準法（昭和二十五年法律第二百一号）第二条第九号の規定に基づき、不燃材料を次のように定める。という規定が、平成十二年五月三十日に通達されています。この要件を満たしている建築材料は、下記の通りです。

コンクリート
れんが
瓦
陶磁器タイル
石綿スレート
繊維強化セメント板
厚さ3mm以上のガラス繊維混入セメント板
厚さ5mm以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板
鉄鋼
アルミニウム
金属板
ガラス
モルタル
しっくい
石
厚さ12mm以上のせっこうボード

●上記建築材料以外の下地基材を使用した場合、防火施工管理ラベル発行ができかねますので、事前の下地確認を確実に行ってください。

詳細はお問合せ先までお問い合わせください。

プリンテリアSO施工マニュアル

【8】メンテナンス

プリンテリアSOの施工後に長期間にわたり美しさを保つためには、下記の事項に注意してメンテナンスを行ってください。

大幅な補修や質問事項については、施工担当工事店もしくは下記お問合せ先にお問い合わせください。

① 日焼けについて

日光や熱風が長時間直接あたる部位は、変退色を起こす恐れがあります。カーテンやブラインドなどで長時間日光が直接あたらないように、十分注意してください。

また、ストーブやエアコン等の暖房の熱風が、直接あたらないようにしてください。

② 汚れの付着

通常使用時の「汚れ」については、中性洗剤を薄めた水溶液をきれいなウエスに浸して、よく絞った上で使用願います。

さらに、仕上げ拭きとしてきれいな水を浸したウエスを良く絞って、洗剤を完全に拭き取ってください。

多量の水を使用するとジョイント部より水分が浸透し、はがれの原因となりますので避けてください。

研磨剤が入っているものの使用は、表面の摩耗の恐れがあるため避けてください。

シンナーやベンジン等の有機溶剤は、表面を傷つける恐れがありますので、使用は避けてください。

油性マジック等の落書きを落とす事は困難です。あらかじめ了承願います。

③ 剥がれや部分的なキズ

施工後の経時変化で、部分的に剥がれが生じることがあります。特に部屋のコーナー（入隅・出隅）、窓・ドア枠回り、サッシの周囲などを注意するようにします。また水のかかりやすい洗面所の周囲、通気の悪い箇所も剥がれをおこしやすい所です。

部分的な剥がれは、下地の汚れ（ホコリ・粉・油分等）を取り除き、壁紙用接着剤で下地に密着させるように貼り付けてください。

ジョイント部分の浮き剥がれ部に壁紙用接着剤を注入し、補修してください。

補強に使用した壁紙用接着剤があふれ出た場合は、必ず拭き取ってください。

④ その他

粘着テープやセロハンテープを壁紙に使用すると、壁紙をいためたり後が残ることがあります。

タバコの煙や台所からの油煙は大変拭きにくく、短時間で壁紙を変色させます。長時間放置しないよう注意するとともに、出来るだけ室内の換気を心がけてください。また、湿気や結露はカビの原因となりますので、換気や湿度調整を心がけてください。

お問い合わせ

お問い合わせ先



Linking your dreams

リンテック株式会社 建装材営業部

〒112-0004 東京都文京区後楽2-1-2 興和飯田橋ビル
TEL.(03)3868-7733 FAX.(03)3868-7755



リンテックサインシステム株式会社

〒153-0061 東京都目黒区中目黒2-1-27
TEL.(03)5721-4912 FAX.(03)5721-4920